

こだいら子ども未来会議を開催しよう！

命をまもる ～ 健康・介護・子どもなど ～ のテーマのもと

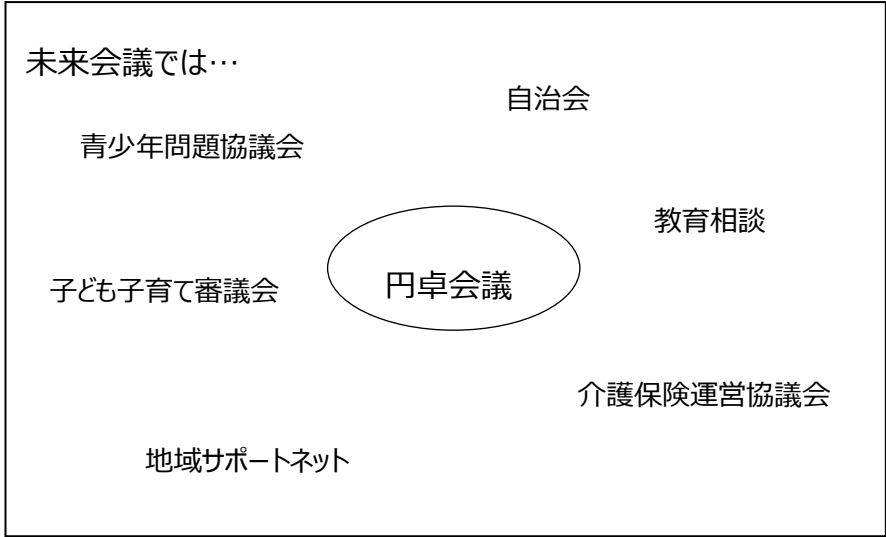
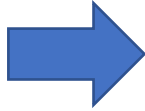
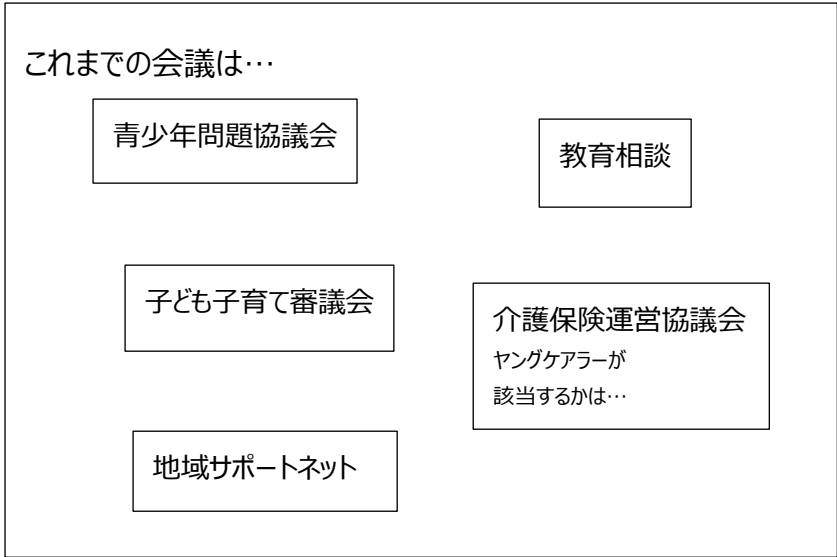
厚生委員会メンバーで話し合いを重ねて、今期の政策提言にはコロナ禍において、これまでとは違うアプローチも重要という意見もあり、さらにはいわゆる「お役所仕事」とは一線を画す合議体の必要性があるのではと、子ども未来会議を取り上げることにしました。

この会議では、これまで設置されていた様々な分野の会議を横断的に柔軟に運営できたらとの希望も込められています。

また、委員会の中でも様々な課題が取り上げられました。例えば若年者の自殺防止やヤングケアラー、いじめや虐待など多岐にわたっています。それらを個々の問題として取り組むのではなく、子どもを中心に据えて課題や必要な支援などをトータルに考える合議体の必要性を提案すべく、参加者の皆様のご意見を伺えればと思います。



こだいら子ども未来会議とは イメージ



個々の課題に取り
組んでいる。



様々なケースの情
報共有が可能と
なる



委員会メンバーの着眼点 その1

小平市自殺対策計画の策定

自殺・孤独・孤立防止対策は、保健 医療 福祉 教育 労働等の横断的な連携が重要

ヤングケアラーへの支援

小中学校との連携でヤングケアラーの実態把握とともに、個々の実情に応じた支援体制

ケアラーの交流や夜間ケアの充実によりケアラーの心身共の健康をまもる



委員会メンバーの着眼点 その2

子ども条例策定の検討

少子化対策、子ども中心の支援体制強化のしくみとしての条例制定を検討する

福祉専門職の採用

不足している障害児支援などを実施する専門職の採用を積極的にすすめるべき



皆様の着眼点をお聞かせください

未来を見据えて子どもを中心にしたときに、どのような支援が必要と考えますか？

円卓会議の構成にご意見はありませんか？

子育てなどでお困りのこと、地域の子供たちの課題などお聞かせください。





